

立」を基本理念としております。

イ 安心できる居場所づくり： 多様なニーズに応じた居場所の拡充を重要施策と位置付けています。行政だけでなく、民間の皆様や地域と連携して進めてまいります。

ウ 意見表明の尊重： タブレット端末を活用した「きかせてみんなの声（子ども版区民の声）」や「若者会議」など、子どもの意見を受け止めフィードバックする取り組みを行っております。

関係機関の皆様と連携し、子どもたちを支える仕組みを作ってまいりたいと考えております。

（８）質疑応答 （コドモノマド）

計画の理念が素晴らしいと感じました。大人や地域全体への周知・機運醸成のためにどのような取り組みをお考えでしょうか。

（子どもの貧困対策・若年者支援課長）

ホームページ等に加え、今回のような場を含め様々な機会を通じて地域の方々へ周知し、ご協力を得られるよう進めてまいります。

（あだちファミリースペース every tree）

サークルや居場所団体を運営するにあたり区からのサポート・補助制度は（計画も含め）あるか。回覧板や掲示板など地域への周知についての考えをお聞かせください。

（子どもの貧困対策・若年者支援課長）

「あだち子どもの未来応援基金」を活用した補助金制度があり、会場費や食材費などの助成を行っておりますのでぜひご相談ください。地域広報について、まだまだ周知不足のところもあります。ご提案いただいた町会等も含め、検討を進めてまいります。

（がるまる）

不登校の低年齢化が進んでいると、先日

NHK でも取り上げていました。これに先立って足立区は積極的に不登校支援に取り組んでいただいていると非常に感じております。ただ心配している点は、子どもや保護者に対応する学校の先生方の負担がやはり大きいということで、子どもが学校の先生とのコミュニケーションがうまくいかず不登校となった場合もある。保護者や子ども、団体への支援は充実されていく一方で、今後先生の負担軽減と言う部分で何かお考え・方針がございましたら、参考としてお聞かせいただきたいと思います。

（不登校施策推進担当課長）

区内の小中学校にスクールカウンセラーを週２回配置し、学校内でも連携しながら不登校の児童生徒、また保護者の方の支援を行っております。今後予定ということで考えているのがアプリケーションを活用し、子どもたちの心の健康観察というものをやってみようと考えているところです。

そういったアプリケーションを通じて、例えば心や体の調子が悪いよってなった時に、早期に担任の先生が気づいてサポートをする。ただ担任の先生だけでなく、スクールカウンセラーや養護教諭、「チーム学校」として校内で情報共有するというのが、教育委員会でも大切だと思っておりますので、そのようなアプリや情報活用を通じて先生方のサポートをしてまいりたいと考えております。

（がるまる）

活動を始めて10年になるのですが、非常に感じているのは保護者の責任感、それから教育に関する考え方が非常に変わってきているなと思っています。多様性という言葉を使って良いか分かりませんが、変化してきていると感じます。外国籍・外国由来の児童生徒も増えており、学校においても将来的には3～4割ぐらいになるのではないかと考えております。その辺も是非ご検討いただければと思います。

6 保護者支援の取組み

(1) 各団体の取組み

(Dopeeps)

「否定しない、アドバイスしない」という
ルールの保護者会や、LINE を活用した個別相
談、親子での地域ボランティア参加などを通
じ、保護者が孤立しない環境づくりをしてい
ます。保護者の安心が子どもの安心に直結し
ます。

(あだちファミリースペース every tree)

不登校の保護者の方の相談や交流会・講座
等を実施しています。保護者の「どうしてい
いか分からない」という切実な悩みに寄り添
いつつ、不登校の本人と保護者を支援してい
ます。また不登校を経験した保護者の方との
交流会を実施したり、地域全体の理解を広げ
る活動をしています。新たに居場所マップ
「サードプレイスマップ」も作成しました。

(2) 『子どもの多様な学びと進路のフェア』案内 (教育相談課長)

11月29日(日)13:30~16:00、「子ども支
援センターげんき」全体(1階~5階)を使用
して、『みつける つながる こどもの多様な
学びと進路のフェア』を初開催いたします。

ア 目的： どこに相談していいかわからな
い保護者や子どもに対し、多様な学びの場
や中学卒業後の進路(チャレンジスク
ール・定時制・通信制高校等)の情報や居場
所、支援機関の情報を一堂に集めて提供し、
子どもや保護者が自分に合った相談先や
居場所と繋がるきっかけを作ること、安心
して次の一步を踏み出せるよう支援する
ことが大きな趣旨です。

イ 内容： 誰でも気軽に自由に立ち寄れる、
オープンな相談や情報収集の場。「気付き
や安心を持ち帰るプログラム」として、基
調講演・保護者体験談と並行し、学校・民
間団体・行政による相談・情報提供ブース
(約15ブース)を設置し取組みを紹介

します。

ウ 出展募集： 本連絡会に参加されている
フリースクールや居場所支援団体の皆様
にも、ぜひ出展ブースや活動紹介でご協力
いただきたく存じます(8月中に参加申込
受付、10月に説明会開催予定)。

新しい取り組みであるこのフェアを、支援
を必要としているお子さんや保護者の方が
必要な情報を知るきっかけとし、また各団体
の活動についての情報を発信する場として、
皆さまのご意見を伺いながら多くの方に情
報が届くよう一緒に作っていきたいと考え
ています。

(3) 質疑応答

(がるまる)

「保護者支援の取り組み」について、情報
発信で工夫していることありますか。相談や
問い合わせをメールや電話、LINE等で受
付けていると思いますが、その受け付けと情
報の発信の仕方で工夫していることがあれ
ば教えていただけますか。

(あだちファミリースペース every tree)

Instagram やホームページから連絡をい
ただいたりしております。プレスリリースも
今年度2件発信しておりまして、そういうも
の通じてご連絡いただいているという形に
なります。

その頂いた内容について、メールでしたら
メールでお返しし、来ていただけないけれ
ども、ちょっとでも話ませんか、という方
にはZoomを設定してやり取りしております。

あと頂いた内容と違いますが、必要に応じ
て「こども支援センターげんき」もご紹介し
たり、既に通ってる方も多いのですけれど
も、こちらに来たこともご報告させていただ
いたりし、常に連携を取りながら、その保護
者自身もウチだけでなく色々なところに行
けるようにご案内していくということも大事
にしております。

(Dopeeps)

主に公式LINEを使って情報の発信を行っております。基本的にはそのLINEの文面に応じてお返事をしますが、ちょっと内容が濃い場合は、個別に来てもらって面談するという形を取っております。

(がるまる)

ありがとうございます。もう1点だけ。先ほど両団体様「孤立を防ぐこと」とお話をされていましたが、やはり自分も活動していて「孤立というのは諸悪の根源」と思っており、その工夫を少しお聞きたいと思いました。

(株式会社エデュケーションアルネットワーク)

『子どもの多様な学びと進路のフェア』の件で、質問をさせていただければと思っております。現在、弊社は足立区様から「家庭学習支援事業」として、不登校児童生徒の各自宅に先生を派遣させていただく事業を受託させていただいております。まさにそういうご家庭のお悩みや、お子さんの様子等を、こういったイベントで共有できたり何か解決できる機会があるというところは素晴らしいと思っており、周知等でご協力させていただければと思っております。既にご計画されていらっしゃるかと思いますが、このイベントに関して、学校様、各種教育施設様にリーフレットやチラシの配布予定はあるかということと、そういう情報が（家庭等に）届きにくいことについて、我々でご協力できることあればお答えいただければと思います。

(教育相談課長)

このフェアについてチラシを作るよう取り組み始めました。学校や、関係メンバーの団体様の方にも送らせていただきたいと思います。

(株式会社エデュケーションアルネットワーク)

不登校の生徒さんがいらっしゃるご家庭にはSSWから配布されるのかもしれませんが、何かご自宅に届ける方法はございますか。

(教育相談課長)

やはりそこが大きな課題で、本当に届けたいところにいかに届けていくかというところは、今検討してるところです。アウトリーチ支援としては、スクールソーシャルワーカーが家庭訪問して届けることもできますが、休み始めたお子さんを持つ保護者にどう届けるかというところを軸に持ちつつ、学校の先生とも相談させていただきながら、確実に届けられる仕組みというのを今検討しているところでございます。各団体の皆様にも、利用されている保護者の方に是非進めていただければと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(がるまる)

足立区には、「不登校支援ポータルサイト」という素晴らしいサイトがあります。色々活用されていると思いますが、今お話しされた情報配信については、今後このサイトを活用されていくのでしょうか。

(不登校施策推進担当課長)

ポータルサイトは今年3月に大幅に改定しており、新たに注目情報というところにトピックス項目を設けております。そういったところに今回のフェアの情報を掲載したり、C4thやHome&Schoolで、保護者に配信できる仕組みなどがありますので、そういった手段を使いながら継続的に情報発信していきたいと考えています。

(小学校PTA連合会)

先ほどご説明いただいたフェアについてです。恐らく、不登校の方は元気な方より少し元気がない方が多いのかなと思います。フェアを告知し、来られる方は良いのですが、やはり埋もれてしまう人、これにも来られない人はどう救うか大事だと思いました。その中で言うと、(資料7コンセプトの)情報収集の場の右下に「オンライン中継」とありますが、多分、恐らくオンライン相談会のようなものがあると、そういった人によりリーチできるのではないかと思います。

(教育相談課長)

ご意見ありがとうございます。その場に来られない人へどう届けるかというところですが、今回のフェアについては、やはりまず足を運んでいただくというのが1つの大きな目的でもあります。今回初めての開催でもあり、オンラインやライブ配信まで手を広げられないと思っております。11月に実施する1回目を踏まえて、足を運べない人にどう届けていくかというところは、オンライン相談を含めて考えていきたいと思っております。

7 閉会

(1) 質疑応答等(全体について)

(認定特定非営利活動法人カタリバ)

資料4について質問させていただきます。シエスタの入学希望の時期が、結構偏りがあると思いました。特に年が明けた1月から5月までの間に審査会が無いようですが、この辺の背景とか、お伺いできるかと思いました。こう思ったのは、次の学年で頑張りたいと思った生徒が、1月から5月の時期に審査会がないことによって、タイミング、いわゆるハシゴを外されるよう可能性があるのかなと思いました。その辺の背景などをお伺いしたいと思いました。

(不登校施策推進担当課長)

今年度は開始初年度ということがあります。東京都からもガイドラインの方で、審査会は概ね(年)5回という目安が示されており、(先行している)他地区の状況も見ながら今回このような月で設定させていただいております。今後は入級希望の方も増えてくる可能性もありますので、そういった状況も見ながら審査会の開催時期というものも検討して参りたいと考えております。

(学校法人三幸学園東京みらい中学校)

我々から1つ提案と言いますか、そういったところで少しお時間をいただきたいと思います。今日は不登校生徒の増加や、低年齢化といった色々な情報をいただいた

のですが、不登校支援に関しての難易度ですとか、多様化ですとか、そういったところはかなり厳しくなっているという風に、皆様も思われていることと思います。そこでですが、我々東京みらい中学校、運営母体の三幸学園が足立区と不登校支援に関する連携協定を結んでいる立場から、今日お集まりの団体の皆様が繋がれるような、そういったネットワークのような場作りをできたらと考えております。まだ構想段階で、今日ご出席のカタリバ様にもご助言やご提案をいただいている段階ですが、大きくは3点考えております。本当に熱心に考え色々支援されている団体の皆様がいらっしゃるの、まずはそういった皆様の活動内容を知ること、今日発表されたDopeeps様やeverytree様の事例の共有など、各団体様のそういった活動内容や実践事例で知見をお互い高め合うということ、我々は足立区で不登校支援をしておりますので、その地域の課題というものを複数の団体が集って一緒に考える、そしてなかなか手の届かない空白のところに関して何ができるかというのは、まだ議論が必要だとは思いますが、一団体ではできないところを複数団体で支援に繋げていく、そういったネットワークを作れたらと考えております。民間だけの繋がりということではなく、足立区とも密に連携をこう強化をしながら、不登校支援の底上げに繋げていければと思っております。皆様本当にお忙しいと思いますので、いきなり大きなネットワーク組織を作るとするのは難しいと思いますが、少しずつ緩やかに、我々三幸学園、カタリバ様と準備を進めて参りたいと考えております。今日はもうお時間ありませんが、改めてヒアリングやアンケートといったもので発信させていただける団体様がいらっしゃいましたら、色々率直なご意見をいただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(2) 閉会の挨拶

(あだち未来創造室長)

今日はありがとうございました。最後に3つお話しさせていただきます。

まずはお礼です。本当にありがとうございました。回を重ねるごとに色々なご意見をいただいております、今も新たなネットワークの話もいただきました。そういった連携を深めていくことが、色々な事業展開をしていく時に、皆さんの力をお借りして街中に広げていくということが大事だと思っております。

もう1つは居場所です。昨年度私も、若者たちからどんな場所が欲しいのかというのを1年間かけて聞いてきました。結論としては、あまりにも多様で、区役所だけでは到底無理だというのが、私の今の結論です。その中で、足立区がやること、民間の皆様がやることあって、足立区を上から見た時に色々な居場所がある、子どもたちがセレクトできる、自分が行きたいところがそこにある、という街を作っていきたいと思っています。

最後に保護者支援のお話ですが、ありがとうございました。私は、「こども支援センターげんき」の所長を少ししていたことがあります。不登校の保護者支援というものは、これからやっていかなければならない大きい課題だなと感じました。講演会を実施してその後グループワークをするのですが、やはりそこで話されている中身というのが、凄く切実で凄く悩みが深く、皆さん「そうそう、うちもそう」という会話が凄く多かったです。先ほど新しいフェアの話がありましたけれども、色々な取り組みをすることが、これからの保護者支援が非常に大事だと思いますので、新しい「げんきチーム」にお力お借りしたいと思っております。引き続き是非よろしくお願いしたいと思います。本当に今日はありがとうございました。

また、次回の不登校支援連絡会は冬に開催予定でございます。詳細が決定しましたら改めて出欠の確認を取らせていただきますので、皆様よろしくお願いいたします。

最後です。お帰りの際、本日たくさんの団体の方からチラシのご案内をいただいております。まだたくさんありますので、是非、お持ち帰りいただいて、また不登校支援の一助にいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

以上を持ちまして、本日の不登校支援連絡会を終了させていただきます。お忘れ物ないように気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。

(3) 事務連絡

(不登校施策推進担当主査)

最後に事務連絡がございます。後日、本連絡会に関するアンケートをメールでお送りさせていただきます。お手数ではございますがアンケートのご協力よろしくお願いいたします。